

加盟が正式に承認されました！



▲浜田哲会長（北海道美瑛町長、写真左）と河津修司副会長（南小国町長、右）と写真撮影を行う草村町長（島根県・海士町）

NPO法人 「日本で最も美しい村連合」とは

フランス発祥の活動を模範として 2005 年に設立。2010 年には「世界で最も美しい村」連合会に加盟。過疎地域の景観や環境、文化を守り、活性化につなげる活動を行うことで、将来にわたって美しい日本を残すことを目指す。

2013 年 10 月現在、54 町村・地域が加盟。
代表は北海道美瑛（びえい）町長の浜田哲氏。

今回の加盟により、高森町が素晴らしい地域資源（人々の生活の営みによって作り出されてきた景観、環境、文化）を保ち、美しい景観の保護を積極的に進めている地域と認められました。

10 月 4 日、島根県海士（あま）町で開催された「日本で最も美しい村」連合の臨時総会において、高森町を含む 4 町村 1 地域が新たに加盟しました。草村町長は協定書の署名のあと、「日本で最も美しい村」宣言を行い、認定のパネルとサッシュ（肩章）を受け取りました。

53 番目の 「日本で最も美しい村」

全国に誇れる 高森町の地域資源

今回の加盟は、私たちが住むこの地域の素晴らしいさを再認識するきっかけとなります。

高森町の地域資源は、人々の暮らしや営みの中にこそあるものです。この資源を守り、発展させるには、私たち住民が高森町の良さを知り、暮らしの中で大事にしていく取り組みが不可欠です。

高森町としても、加盟を一つの契機として、素晴らしい地域資源を守り育て、郷土の誇りとなるようなまちづくりを進めていきます。



▲加盟町村長と記念撮影を行う草村町長（最前列右端）

「日本で最も美しい村」連合への

高森町の地域資源

連合の審査で認定された

加盟にあたっては、2つ以上の地域資源の認定が必要です。厳しい審査を経て、右の3つが高森町の地域資源に認定され、今回の加盟承認にいたりました。

資格審査員の声

高森の草原景観は、まさに人の営みと自然が共生されたもので、高く評価します。多くの人にその良さを知ってもらえるよう、情報発信すべきです。

豊かな水を活かした地酒、味噌や醤油の食文化の貢献は評価されます。こうした中心市街地の店を核に、賑わいのあるまちづくりへ向けた長期計画づくりが望まれます。

これらの地域資源を保全し活かしながら、共に「最も美しい村」運動を盛り上げていきましょう。

美しい草原風景



豊かな環境が生み出す水の源



肥後三馬鹿騒ぎの風鎮祭

